教科名	地歴	科目	日本史演習（進学）	単位	3単位

1．教科書および副教材・参考書

教科書　:『詳説日本史探究』

副教材　:『詳説　日本史図録』『ゼミナール日本史』

2．授業の目標および内容

高等学校２年次、３年次で学習した内容を問題演習によって復習する授業です。

日大基礎学力到達度テストを含めた大学入試問題に対応できる実力を養成するなど、各自のレベルアップを図ることを目標とします。そのためには基礎力を高めることが不可欠です。そのうえで、歴史的語句のみを覚えるだけではなく、その背景にある事象、時代背景ならびに地域との関連性、国際環境などと関連させ、総合的な学習に発展させることも目標にしています。

また、小テスト・宿題を適宜実施することで、それぞれの理解度や到達度の確認も行います。授業に臨む際にはテキストだけではなく、必ず教科書の範囲も広く予習しておいてください。日大基礎学力到達度テスト終了後には、選択の授業と連携して近代～現代の授業を実施します。

3．試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次　5月	二次　7月	一次　10月	二次　12月	なし
学力試験	第1回　6月		第2回　9月		なし

4．内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題。

問題演習中心の講義なので、教科書ページではかなりの広範囲になります。

レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。

② 学力試験：100点満点（日本史選択と日本史演習でそれぞれ50点分）で出題。

問題のレベルとしては、中堅私立大学以上の入試問題を念頭に置いています。

5．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

6．評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（小テストの結果、宿題ならびに提出物、学力テストの結果、授業態度など）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	原始・古代 中世 近世	国家の成り立ちと文化を中心に演習 通史に加えて、外交、経済産業、文化の関りを網羅的に演習 通史の流れの中で、特に法制度の整備と幕藩体制を中心に取り扱う。時間経過による流通や経済活動の変化をつかむ	教科書・史料集・問題集(テキスト)を中心に、問題演習と解説をおこなう。
2	幕末・明治維新 日露戦争と国際関係 産業の発展 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 現代	江戸時代の封建制度から立憲体制へ移行する流れをつかむ 立憲政友会の成立 中国分割と日英同盟 日露戦争 日露戦後の国際関係桂園時代 産業革命 紡績・製糸・鉄道 重工業の育成 産業と農民 社会運動の発生　大正政変 第一次世界大戦 日本の中国進出 大戦景気 政党内閣の成立 パリ講和会議とその影響 ワシントン会議と協調外交 社会運動の勃興 普選運動と護憲三派内閣の成立 戦後恐慌から金融恐慌へ 社会主義運動の高まりと協調外交への転換 金解禁と世界恐慌 協調外交の挫折 満州事変 政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退 教皇からの脱出 転向の時代 二・二六事件 三国防共協定 日中戦争 戦後統制と生活 第二次世界大戦の勃発 新体制と三国同盟 太平洋戦争の始まり 戦局の展開 国民生活の崩壊 敗戦 戦後史	教科書・史料集・問題集(テキスト)を中心に、問題演習と解説をおこなう。